

第3学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主題 誇りうる生き方を求めて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

人々の生きる権利や生活をおびやかす差別を見抜き、それを自分の問題としてとらえ、部落差別をはじめ様々な差別解消に向けて仲間と共に立ち向かう実践力を養う。

4 指導計画

部落差別について知る

「日本の人権獲得の歴史」（わたしの願い）

（総合的な学習の時間）1時間

- ・現代の人権獲得の歴史を学ぶことを通して、部落差別解消に向けて立ち上がった人々の思いを理解し、差別解消に向けての意欲を高める。

部落解放運動から学ぶ

「三月三日の風 水平社誕生物語」（DVD）

（総合的な学習の時間）2時間

- ・水平社創立の経緯を知り、水平社宣言に込められた思いや願いについて考える。

結婚差別について考える

「峠」（徳島版 私たちの道徳）

（総合的な学習の時間）4時間

- ・結婚差別を乗り越えた2人と両親の生き方から、偏見や差別のない社会の実現のために、自分がどのように生きていくべきか考える。

誇りうる生き方をめざす

「許せない就職差別」（わたしの願い）

（総合的な学習の時間）3時間（本時3／3）

- ・社用紙の中に差別的事項が含まれていることに気づき、差別を解消していこうとする態度や実践力を養う。

社会に出て互いの人権を尊重できる人間に

○学級目標を決める

（学級活動）2時間

- ・理想の学級をつくるために目標を共有し、実践していこうとする意欲を高める。

○とこチャレと明日への扉

（常時）

- ・小さいことでも続けることで自信をつけ、いろいろなことに挑戦できるようにする。

○レクリエーション

（毎週水曜日）

- ・レクリエーションを通して級友とコミュニケーションをとり、お互いを思いやる集団をつくる。

○校内人権に関する意見発表会

（6月）

- ・意見発表会に向け、これまでの人権課題についての学習を振り返り自分の意見をまとめ、発表会当日は代表生徒の意見を聞いたり、意見交換会で発表したりして、差別解消への意識を高める。

5 本時の学習

(1) 目標

以前使用されていた採用選考応募用紙（以下社用紙）の中に差別的事項が含まれていることに気づくことから差別の不当性を理解し、差別を解消していこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 法の下での平等

個別人権課題名 同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 社用紙を提示し、前時の学習を振り返る。	○ 前時の学習内容を想起させる。
2 自分のワークシートを確認し、人権尊重の視点から社用紙に含まれる問題点をみつけ、どのような人権課題につながるか考える。	○ 「就職差別につながるとされる14項目」とこれまでの人権学習の観点から、就職時の選考における社用紙の問題点について確認し、差別を見逃していたことによってどのような人権侵害につながっていくかを考えさせる。
自分たちの生活の中に、差別がないか考えよう。	
3 自分の生活を振り返る。	○ 生活の中でも無意識のうちに誰かを差別したり、差別されていても受け流したりしている場面はなかったか振り返りをさせる。 ①
4 これからの生き方について考え、発表する。	○ 普段の生活を振り返り、これからの生活にどのように生かしていきたいかを具体的に考えさせ、発表させる。 ②

(4) 評価

- ・ 差別の不当性を理解することができたか。 (知識的側面) ①
- ・ 差別を解消するために、どのように行動すればよいか考え、実践しようとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②